

<b>3 子どもの安全・安心部会</b>		部会テーマ	子どもの安全・安心について考える
内 容	昨今、子どもたちを取り巻く環境は複雑化しており、現代的な諸課題の一つとして、安全に関する教育の充実が求められている。また、すべての子どもの学びを保障するためには、関係機関が理念や方法を共有しながら、連携・協働して取り組んでいくことが一層求められている。そこで本部会では、県内における子どもたちの安全・安心に関する取組及び成果等の発表を通して、学校や関係機関が取り組むべき具体的な方策について考える。		
部会担当者	武井 玲子 (総合教育センター)	指導助言者	久保 元芳 (宇都宮大学)

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

**実践発表①**

**危険を予測し、回避する能力を身に付け、自分を守る行動ができる  
児童生徒の育成を目指して**

～「令和4(2022)年度学校安全総合支援事業」の取組～

**9時55分～10時20分**

県教委事務局学校安全課 佐藤 隆文  
塩谷町教育委員会事務局学校教育課 藤井 正典

今年度、塩谷町をモデル地域として、不審者対策や交通事故防止に対する教育プログラムの開発・活用を通して、危険を予測し、回避する能力を身に付け、自分を守る行動ができる児童生徒の育成について取り組んでいる。その成果等について発表する。

**実践発表②**

**高校生の「安全へのまなざし」育成に向けたアクション・リサーチ**

～県立高等学校を対象とした取り組み～

**10時20分～10時45分**

県立宇都宮中央女子高等学校・中央高等学校 田中 睦子

日常生活において周囲のリスクに気付き、自らや他者、将来的には社会の安全を守ることができる資質・能力を「安全へのまなざし」と位置付け、その獲得を目指す長期的な視点での安全教育を、高校生を対象としてアクション・リサーチという研究デザインで螺旋的に実践したので、その概要を紹介する。

**実践発表③**

**「栃木市不登校児童生徒適応指導教室の在り方に関する方針」の  
策定を通して** ～不登校支援の更なる充実を目指して～

**10時45分～11時10分**

栃木市教育研究所 栃木市教育委員会事務局学校教育課 高瀬 智行

栃木市教育委員会では市有施設を利用し、5か所の適応指導教室を設置している。本市の不登校児童生徒数は増加傾向にあり、本市の不登校対策の中核的な役割を担う適応指導教室の在り方に関する方針を令和2年度に策定した。策定の経緯や意義について教育行政の視点から発表する。

**指導助言**

**11時10分～11時25分**

宇都宮大学共同教育学部 久保 元芳